

## メキシコ政治情勢（7月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 1日、ロペス・オブラドール大統領、政策演説を実施。
- 5日、エル・フィナンシエロ紙、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は56%で、前月比3%減。
- 5日、「ロ」大統領、後継者候補（与党次期大統領候補）となり得る者の名前に言及。
- 7日、「ロ」大統領とガルシア次期ヌエボレオン州知事が会談。
- 8日、「ロ」大統領の弟が元チアパス州知事顧問から現金を受取る映像が公表。
- 9日、連邦検察総局、不正蓄財罪の容疑でグアハルド元経済相を起訴。
- 13日、エブラル外相、2024年大統領選挙に関し発言。
- 16日、ラミレス新大蔵公債相、公務を開始。
- 30日、連邦議会臨時会、人材下請け契約（アウトソーシング）を原則禁止する改正労働法の施行を1カ月延期する旨決定。

#### 【外交】

- 1日、墨当局と米国麻薬取締局（DEA）による治安対策協力会合が開催。
- 1日、「エ」外相が訪仏。墨仏外相会談が実施。
- 5日、「ロ」大統領、訪墨した米国の上院議員代表団と会談。
- 7日、墨政府は、ハイチ大統領の暗殺事件に関し、非難の意及び弔意を表明。
- 12日、「ロ」大統領、キューバにおける大規模デモに関し、墨政府の立場を表明。
- 13日、連邦議会、セアデ前北米担当外務次官の次期駐中国大使への任命を承認。
- 16日、「エ」外相、北朝鮮との関係を「再開」する旨発言。
- 17日、墨政府、キューバに注射器80万本を贈与。
- 24日、メキシコ市でシモン・ボリバル生誕記念式典が開催。
- 24日、メキシコ市でラ米カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合が開催。
- 24日、墨コロンビア外相会談が実施。
- 27日、墨政府、キューバに医薬品、食料及び燃料等を贈与。
- 28日、「エ」外相、ペルー大統領就任式に出席。
- 29～30日、墨政府代表団が訪米。二国間関係等につき協議。

#### 【内政】

##### 1 ロペス・オブラドール大統領が政策演説を実施

1日、「ロ」大統領が政策演説（四半期に一度実施。今回は「選挙における墨国民の歴史的・民主的勝利3周年（2018年7月1日の大統領選挙から3周年）」の位置付け。）を行

った。「ロ」大統領は、演説中でワクチン接種の効果を強調。製造業、商業、観光等が回復し、本年は6%程度成長の見込みと述べた。また、インフラプロジェクトを通じた国の開発、及び奨学金、年金等を通じた国民の社会福祉の保証を強調し、国民の7割強が自分を支持していると述べた。なお、今後の政策方針は特に示されなかった。

## 2 大統領支持率等に係る世論調査結果

5日、エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表（6月11～12日及び24～25日に、有権者1,000名を対象に電話調査形式で実施。誤差±3.1%。※を付した質問は、24～25日に実施。）。

(1) ロペス・オブラドール大統領の取組を支持するか。

ア 支持する：56%（前回（5月、以下同じ）59%）

イ 支持しない：40%（前回37%）

(2) 「ロ」大統領政権のワクチン接種の取組を如何に評価するか。

ア とても良い、又は良い：62%（前回58%）

イ とても悪い、又は悪い：20%（前回23%）

(3) メキシコが現在抱えている主要な問題はいずれか。

ア 治安の悪さ：35%（前回42%）

イ 経済、失業：21%（前回24%）

ウ 新型コロナウイルス感染症、保健：12%（前回9%）

(4) 各分野における「ロ」大統領政権の取組を如何に評価するか。

ア 保健分野

・とても良い、又は良い：48%（前回42%）

・とても悪い、又は悪い：30%（前回36%）

イ 汚職分野

・とても良い、又は良い：36%（前回29%）

・とても悪い、又は悪い：46%（前回52%）

ウ 経済分野

・とても良い、又は良い：38%（前回36%）

・とても悪い、又は悪い：42%（前回42%）

エ 治安対策

・とても良い、又は良い：27%（前回24%）

・とても悪い、又は悪い：59%（前回58%）

(5) 総じて、メキシコは如何なる道を辿っているか。

ア 良い道を辿っている：41%（前回37%）

イ 悪い道を辿っている：33%（前回39%）

(6) 本日が大統領信任投票日であった場合、如何に投票するか。

ア 信任票を投じる：54%（前回59%）

イ 不信任票を投じる：41%（前回31%）

（7）先日、「ロ」大統領は、中産階級は自己中心的な野心家であると発言した。右発言を如何に評価するか（※）。

ア 全体

・とても良い、又は良い：34%

・とても悪い、又は悪い：52%

イ 自身を中産階級と考える回答者（全体の32%）

・とても良い、又は良い：28%

・とても悪い、又は悪い：59%

ウ 自身を労働者階級と考える回答者（全体の59%）

・とても良い、又は良い：38%

・とても悪い、又は悪い：48%

（8）先日、「ロ」大統領は、中産階級は外国メディアの影響を受けやすいとも発言した。右発言に賛成か、反対か（※）。

ア 全体

・とても良い、又は良い（賛成）：37%

・とても悪い、又は悪い（反対）：54%

イ 自身を中産階級と考える回答者（全体の32%）

・とても良い、又は良い（賛成）：29%

・とても悪い、又は悪い（反対）：63%

ウ 自身を労働者階級と考える回答者（全体の59%）

・とても良い、又は良い（賛成）：41%

・とても悪い、又は悪い（反対）：52%

### 3 「ロ」大統領が後継者候補に言及

5日、「ロ」大統領は、自分は次期大統領選挙プロセスには介入しない旨述べつつ、国家再生運動（MORENA）の大統領候補となり得る者の名前を挙げた。その中には、シェインバウム・メキシコ市長、エブラル外相、クルティエル経済相、ナレ・エネルギー相、デ・ラ・フエンテ国連代表部大使及びモクテスマ駐米大使（前公共教育相）が含まれた。また、自身は2024年9月に任期を終了し、政治活動から引退するとの考えを改めて述べた上、自身の残り任期中に変革を加速し、保守派が政権を取っても逆行できない程度まで変革を進めるとした。

### 4 「ロ」大統領とガルシア次期ヌエボレオン州知事が会談

7日、「ロ」大統領とガルシア次期ヌエボレオン州知事（市民運動（MC）所属。本年6

月の州知事選で当選した野党の次期知事と「ロ」大統領の初の会合。)が会談を行った。「ロ」大統領は、ヌエボレオン州におけるインフラプロジェクト(ダム、道路、電車等)を継続する旨述べた。「ガ」次期知事は、同州が現在建設を進めているモンテレイ郊外地区の鉄道路線につき、連邦政府の支援を得られることが明確になった点が、会談の最重要成果であると述べた。その他、上下水道、治安対策等につき、連邦政府と同州政府の協力を進める点で一致した。

#### 5 「ロ」大統領の弟が元チアパス州知事顧問から現金を収受する映像が公表

8日、「ロ」大統領の弟であるマルティン・ヘスス・ロペス・オブラドール氏が、2015年に当時のチアパス州知事顧問であったダビッド・レオン氏から15万ペソの現金を収受した場面を映したビデオが、ジャーナリストのロレット・デ・モラ氏により公表された。「ロ」大統領は、本件に関し、弟の私的資金の収受と理解する、政権に敵対する勢力が本件を政治的に利用している旨述べた。

#### 6 グアハルド元経済相の起訴

9日、墨連邦検察総局は、グアハルド元経済相(ペニャ・ニエト前政権期)を不正蓄財罪の容疑で起訴したと発表した。12日の定例早朝記者会見において、「ロ」大統領は、「グ」元経済相が、自身のSNS上で、本件は政治的意図を持った訴追であると発信したことに関する記者の質問に対し、「我々は政治的訴追を行わない。復讐(venganza)は、自分(「ロ」大統領)の得意とする事項ではない。我が政権は、誰に対しても汚職及び無処罰がないよう、司法当局及び公共行政省に指示している。」と述べた。

#### 7 エブラル外相の2024年大統領選挙に係る発言

13日、「エ」外相と支援者等の会合が報じられたことを受け、同外相は、大統領定例早朝記者会見で、次期(2024年)大統領選挙に係る発言を行った。同選挙におけるMORENAの大統領候補として自分の名を挙げた「ロ」大統領への感謝を述べ、その時が来れば選挙に参加できるよう、準備しようと支援者に述べた旨発言した。

#### 8 ラミレス新大蔵公債相の公務開始

16日、「ロ」大統領から次期中銀総裁に指名されたエレラ大蔵公債相が同大臣職を辞し、同大統領から後任に任命されたラミレス新大蔵公債相が公務を開始した(憲法第82条第3項に基づき、大蔵公債省及び外務省の大臣及び高官は、任命された時点で公務の開始が可能であり、連邦議会で就任が承認されなかった際に同公務を終了する。)。同日付大蔵公債省プレスリリースは、同省がエネルギー部門の会計及び開発銀行の強化への関与を強めると発表。また、「ラ」新大臣は、負債に頼る以前に、国内資源の使用の最適な合理化を行う、良好な経済環境及び企業家・投資家との信頼関係を促進し、本年に始まった経済回復を推進

する、歴史的に恵まれない地域を中心に、国全体の包摂的な経済成長のために、投資プログラムの成熟及び官民協働インフラプロジェクトの活用に取り組む等の考えを示した。

9 連邦議会、人材下請け契約を原則禁止する改正労働法の施行を1カ月延期する旨決定  
30日、閉会期間中である連邦議会の臨時会が招集され、人材下請け契約（アウトソーシング）を原則禁止する内容の改正労働法（注：本年4月20日に連邦議会で承認）の施行が1カ月延期され、9月1日になる旨、決定された。

## 【外交】

### 1 墨当局と米国麻薬取締局（DEA）による治安対策協力会合

1日、墨外務省において、来訪中のDEA職員が出席し、墨米両国における麻薬の生産及び消費に係る墨米当局間の治安対策協力会合が、治安対策に共同で取り組むための調整を主目的として開催された。麻薬の消費及び密輸による悪影響を減少させるための墨政府とDEAの協力につき協議され、墨米双方は、犯罪組織に対するインテリジェンス共有のためのメカニズムの改善を二国間の優先事項とする点で一致した。

### 2 墨仏外相会談が開催

1日、訪仏中のエブラル外相とル・ドリアン仏欧州・外務大臣との間で会談が行われ、共同宣言が発出された。両外相は、二国間関係の深化、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを受けての国際情勢、及び仏墨両国が共同議長を務めたジェネレーション・イクオリティ・フォーラム等につき協議した。

### 3 「ロ」大統領と米国上院議員代表団が会談

5日、「ロ」大統領は、訪墨した米国の上院議員代表団（超党派）と会談し、両国国境地域における抗新型コロナウイルス・ワクチン接種の進展及び国境の両側における経済的な影響を踏まえ、同国境を再開することの重要性を改めて述べた。また、メキシコ及び中米北部での移住の構造的原因に対処するための様々なメカニズムに係る交流を強調した。双方は、パンデミック後の経済成長を強化すべく、発効から1年を経た墨米加新協定（USMCA/T-MEC）の実施における課題及び機会について協議し、地域のバリューチェーンの統合、及び議員団メンバーが代表する諸州との貿易機会等に関し話し合った。治安分野での協力については、特にフェンタニルの取引を大幅に削減すべく協働を深化することで一致した。

### 4 ハイチ大統領暗殺に対する弔意及び非難の表明

7日、モイーズ・ハイチ大統領が暗殺されたことを受け、墨政府はかかる行為を強く非難し、ハイチ国民に哀悼の意を表するとともに、両国を結び付けてきた友情、連帯、及び協力

の絆を引き続き強化する用意がある旨を改めて表明した。また、墨政府は、CELAC議長国としても非難の意を表明し、CELACが憲法秩序、法の支配及び民主的制度を支持すると同時に、あらゆる形態の暴力を断固として拒否し、ハイチの平和に向けた対話を促すと発表した。

#### 5 「ロ」大統領、キューバにおけるデモに関する墨政府の立場を表明

12日、「ロ」大統領は、キューバにおける大規模デモに関する墨政府の立場を表明。墨憲法の外交原則である不干渉、民族自決、紛争の平和的解決、及び人権の保障に常に従うとした上で、キューバ国民への連帯を表明し、暴力のない、対話を通じた解決を促した。また、介入主義があってはならないとし、キューバに対する経済封鎖を止めるべきと発言。墨政府として、キューバに医薬品、ワクチン、及び食料を援助することが可能と述べた。

#### 6 セアデ前北米担当外務次官の次期駐中国大使への任命承認

13日、墨連邦議会がセアデ前北米担当外務次官の次期駐中国大使への任命を承認した。同日付外務省プレスリリースは、「セ」大使の任命は、メキシコが中国との外交、経済、及び社会的関係をさらに強化する必要性に基づくとし、「セ」大使は、①中国からの直接投資の促進、②メキシコの中国への輸出の促進、③観光の振興、④学術・技術交流の拡大・充実の4つの主要な軸を通じた国益のための取組を推進する意思を表明した。

#### 7 「エ」外相、北朝鮮との関係を「再開」する旨発言

16日、国連安保理に出席するためニューヨークを訪問していた「エ」外相は、記者会見での質問に応え、「我々は、世界の如何なる国との関係に関しても、開かれた立場を有している。各国において大使館を再開し、我が国との貿易及び諸活動を開始するために取り組んでいる。我が国は、世界中の国に対して、(内政)不干渉の立場を有しており、全ての政府を尊重する。また、他の国々と同様、北朝鮮との関係も再開する」と述べた。

#### 8 墨政府、キューバに注射器80万本を贈与

17日、墨政府は、CELAC議長国として、キューバに注射器80万本を贈与した。墨政府は、右贈与が、医薬品及び物資をラミカリブ諸国に分配し、公平かつ早期のパンデミック対策の実現を目指す、対新型コロナウイルス感染症CELAC協力計画の一環であるとした。

#### 9 シモン・ボリバル生誕記念式典が開催

24日、メキシコ市で、解放者シモン・ボリバル生誕238周年記念式典が行われ、「ロ」大統領がスピーチを行った。その中で同大統領は、米州諸国の共生を呼びかけつつ、中国経済の拡大に触れ、米州地域の一層の連帯、経済統合を支持する考えを示した。また、欧州連

合に類似した組織を米州で創ることを提案するとともに、米州機構（OAS）に代えて、真に自律的な機関がその役割を担う可能性に言及した。なお、同式典にはCELAC加盟諸国の外相他が参加した。

#### 10 CELAC外相会合が開催

24日、メキシコ市で、第21回CELAC外相会合が開催され（対面形式）、CELAC全加盟国の代表者が参加した。「エ」外相は、メキシコ議長国の下、CELACを地域協力のための主要な枠組とすることが提案され、右が達成されつつあると強調した。また、「CELAC熟慮プロセス」を終了することが合意された。

#### 11 墨コロンビア外相会談が開催

24日、コロンビアのラミレス副大統領兼外相が、シモン・ボリバル生誕238周年記念式典及び第21回CELAC外相会合に出席するためメキシコを訪問し、「エ」外相と会談した。両外相は、両国に共通する主要課題を検討し、政治対話、貿易、移民当局間の情報交換及び領事関係の協力、パンデミックへの対策及びワクチン接種の進捗に係る経験共有、麻薬密輸、組織犯罪、及び汚職と闘うための協力、文化的な結びつき等を強化するとのコミットメントを再確認した。

#### 12 墨政府、キューバに医薬品、食料及び燃料等を贈与

27日、墨政府がCELAC議長国としてキューバに軽油、注射器、酸素タンク、マスク、食糧等を贈与する船便が出発した。右贈与は、パンデミックがもたらしたキューバにおける社会経済的危機、及び医療機関等の保健衛生上の状況に鑑みて行われた。

#### 13 「エ」外相、ペルー大統領就任式に出席

28日、カスティージョ・ペルー新大統領の就任式に「エ」外相が出席した。「エ」外相は、「カ」大統領に対し、メキシコがペルーとの二国間関係を重視し、関係を深化する意思を有している点を表明し、戦略的関係の強化に係る関心を伝えた。また、「カ」大統領をメキシコに招待した。

「エ」外相は、フェルナンデス・アルゼンチン大統領、アルセ・ボリビア大統領、ラッソ・エクアドル大統領と二国間会談を行い、ピニエラ・チリ大統領、モラレス・ボリビア前大統領とも懇談した。

#### 14 墨米外相電話会談、及びハイレベル実務協議

29日、「エ」外相とプリンケン米国国務長官が、電話会談を行った。また、これと並行して、29～30日、墨外務省北米局長、駐米大使等から成る政府代表団が、移民協力に関する米国政府当局及び市民社会組織とのハイレベルな対話を継続すべく、米国ワシントン

で国土安全保障局（NSC）、国防省、国務省等の関係者と会合し、中米北部諸国他からの移民の流れにつき協議した。また、ハリス米国副大統領のメキシコ訪問の際に両国間で署名された了解覚書のフォローアップとして、短期的に移民の構造的原因に対処するための協力についても話し合った。

（了）